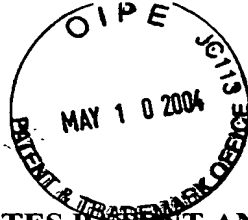


Docket No.: P21-163401M/YS  
NGB.344



**IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE**

In re patent application of

Seiji Sawatani, et al.

Serial No.: 10/736,993

Group Art Unit: 3618

Filing Date: December 17, 2003

Examiner: Unknown

For: LID LOCK APPARATUS FOR GLOVE BOX

Honorable Commissioner of Patents  
Alexandria, VA 22313-1450

**SUBMISSION OF PRIORITY DOCUMENTS**

Sir:

Submitted herewith is a certified copy of Japanese Application Numbers 2002-366293 and 2003-397051 filed on December 18, 2002 and November 27, 2003, upon which applications the claim for priority is based.

Respectfully submitted,

A handwritten signature in black ink, appearing to read "Sean M. McGinn".

Sean M. McGinn, Esq.  
Registration No. 34,386

Date:

5/10/04

McGinn & Gibb, PLLC  
Intellectual Property Law  
8321 Courthouse Road, Suite 200  
Vienna, VA 22182-3817  
(703) 761-4100  
Customer No. 21254

日 本 国 特 許 庁  
JAPAN PATENT OFFICE

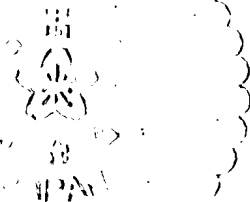
別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日                      2 0 0 2 年 1 2 月 1 8 日  
Date of Application:

出 願 番 号                      特 願 2 0 0 2 - 3 6 6 2 9 3  
Application Number:  
[ST. 10/C]:                      [ J P 2 0 0 2 - 3 6 6 2 9 3 ]

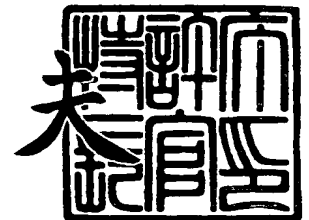
出      願      人                      株式会社パイオラックス  
Applicant(s):



2 0 0 3 年 1 0 月 3 0 日

特許庁長官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

今 井 康 夫



出証番号    出証特 2 0 0 3 - 3 0 9 0 1 3 8

【書類名】 特許願

【整理番号】 MP-1575

【提出日】 平成14年12月18日

【あて先】 特許庁長官 太田 信一郎 殿

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県横浜市保土ヶ谷区岩井町 5 1 番地 株式会社パ  
イオラックス内

【氏名】 澤谷 誠司

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県横浜市保土ヶ谷区岩井町 5 1 番地 株式会社パ  
イオラックス内

【氏名】 名島 正浩

【特許出願人】

【識別番号】 000124096

【氏名又は名称】 株式会社パイオラックス

【代理人】

【識別番号】 100086689

【弁理士】

【氏名又は名称】 松井 茂

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 002071

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 0111278

【プルーフの要否】 要

**【書類名】 明細書****【発明の名称】 グローブボックス用リッドロック装置****【特許請求の範囲】**

**【請求項 1】** グローブボックスのリッドに内装して該リッドの両側を該グローブボックスに掛止するグローブボックス用リッドロック装置において、

先端にフック部を有する同一形状の一对のロックアームを点対称に配設して互いの後部から延出するロッドを互いの側部に設けたロッドガイド部に挿通して該両ロックアームを互いに水平方向へ移動を可能とし、

上記両ロックアームの間に回転体を配設し、

上記回転体の径方向の点対称な位置に形成したカム溝に上記各ロックアームの基部に設けたカムピンを各々係入して上記両ロックアームを相反する方向へ移動自在に連結し、

上記両ロックアームを互いに縮めた状態に保持する保持手段を設けて、上記両ロックアームと上記回転体とをサブアッセンブリ化することを特徴とするグローブボックス用リッドロック装置。

**【請求項 2】** 上記保持手段は、上記回転体から径方向へ延出するレバー部に一端を掛止され、上記回転体を介して上記両ロックアームが互いに引き合う方向へ付勢する側の該ロックアームに他端を掛止されたりターンスプリングからなる請求項 1 記載のグローブボックス用リッドロック装置。

**【請求項 3】** 上記一对のロックアームと上記回転体とを上記リッドに取付けるに際しては、上記リターンスプリングの他端を該リッドに掛止させて、両ロックアームを上記回転体を介して互いに反撥し合う方向へ付勢させる請求項 2 記載のグローブボックス用リッドロック装置。

**【請求項 4】** 上記ロックアームには上記回転体に形成した上記レバー部に押圧されて該ロックアームを互いに引き合う方向へ動作させるピンが突設されている請求項 1～3 のいずれか 1 つに記載のグローブボックス用リッドロック装置。

**【発明の詳細な説明】****【0001】****【発明の属する技術分野】**

本発明は、グローブボックスのリッドに取付けて、このリッドの閉状態を保持するグローブボックス用リッドロック装置に関する。

#### 【0002】

##### 【従来の技術】

一般に、車両のインストルメントパネルに設けられているグローブボックスのリッドの閉状態を保持するリッドロック装置は、リッドの上端中央をグローブボックスに掛止するセンタロック方式と、リッドの左右両側上部に一对のフックを配設し、この両フックをグローブボックスに掛止させることで閉状態を維持するサイドロック方式とがあり、リッドの幅が比較的広い場合、センタロック方式では、リッドを閉じた際に、インパネ面との面差のバラ付きが少ないため、サイドロック方式が多く採用される。

#### 【0003】

サイドロック方式を採用するリッドロック装置として、例えば下記特許文献1には、リッドの両側上部に配設した左右一对のフックをリンク機構を介して接続すると共に、このリンク機構をリッドの表面に取付けた操作レバーに接続し、この操作レバーを引くことで、左右一对のフックを連動させて、この両フックのグローブボックスに対する係合を解除する技術が開示されている。

#### 【0004】

このように、サイドロック方式のリッドロック装置は、左右一对のフックを連動させるためのリンク機構を必要とし、フック及びリンク機構は組立て工程においてリッドに対し個別に取付けられる。

#### 【0005】

##### 【特許文献1】

実開平5-67544号公報

#### 【0006】

##### 【発明が解決しようとする課題】

しかし、上述した公報に開示されているリッドロック装置は、組立て工程において、リッド内に一对のフック及び、この両フックを接続するリンク機構を取付けるようにしてるため、組立て工数が嵩み製品コストが高くなる不都合がある。

更に、組立て後は両フックをスムーズに動作させるための調整が必要となり、その分の作業工数も嵩み、製品コストが更に高くなってしまう不都合がある。

#### 【0007】

又、フック及びリンク機構を構成する各部品は単品毎に納品されるため、紛失しやすく、部品管理が煩雑化する不具合がある。

#### 【0008】

従って、本発明の目的は、組立てが容易で、しかも組立て後の調整も殆ど必要とせず、組立て工程における作業工数削減による製品コストの低減を図り、且つ部品管理の容易なグローブボックス用リッドロック装置を提供することにある。

#### 【0009】

##### 【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するため、本発明の第1は、グローブボックスのリッドに内装して該リッドの両側を該グローブボックスに掛止するグローブボックス用リッドロック装置において、先端にフック部を有する同一形状の一对のロックアームを点対称に配設して互いの後部から延出するロッドを互いの側部に設けたロッドガイド部に挿通して該両ロックアームを互いに水平方向へ移動を可能とし、上記両ロックアームの間に回転体を配設し、上記回転体の径方向の点対称な位置に形成したカム溝に上記各ロックアームの基部に設けたカムピンを各々係入して上記両ロックアームを相反する方向へ移動自在に連結し、上記両ロックアームを互いに縮めた状態に保持する保持手段を設けて、上記両ロックアームと上記回転体とをサブアッセンブリ化することを特徴とするグローブボックス用リッドロック装置を提供するものである。

#### 【0010】

上記発明によれば、保持手段により一对のロックアームを互いに縮めた状態に保持させることで、このロックアームと回転体とをサブアッセンブリ化するようにしたので、納品時に部品がバラバラに成らず、部品管理が容易となる。

#### 【0011】

本発明の第2は、上記第1の発明において、上記保持手段は、上記回転体から径方向へ延出するレバー部に一端を掛止され、上記回転体を介して上記両ロック

アームが互いに引き合う方向へ付勢する側の該ロックアームに他端を掛止されたリターンスプリングからなるグローボックス用リッドロック装置を提供するものである。

#### 【0012】

上記発明によれば、リターンスプリングの付勢力により一对のロックアームを互いに引き合う方向へ付勢させることができるので、サブアッセンブリ化を容易に行うことができる。

#### 【0013】

本発明の第3は、上記第2の発明において、上記一对のロックアームと上記回転体とを上記リッドに取付けるに際しては、上記リターンスプリングの他端を該リッドに掛止させて、両ロックアームを上記回転体を介して互いに反撥し合う方向へ付勢させるグローボックス用リッドロック装置を提供するものである。

#### 【0014】

上記発明によれば、上記リターンスプリングの他端を該リッドに掛止させて、両ロックアームを上記回転体を介して互いに反撥し合う方向へ付勢させるだけで良いため、組立て作業を大幅に削減することができる。

#### 【0015】

本発明の第4は、上記第1～3の発明のいずれかにおいて、上記ロックアームには上記回転体に形成した上記レバー部に押圧されて該ロックアームを互いに引き合う方向へ動作させるピンが突設されているグローボックス用リッドロック装置を提供するものである。

#### 【0016】

上記発明によれば、上記ロックアームに突設されたピンが、上記回転体に形成した上記レバー部に押圧されるため、回転体の回転をロックアームに対して効率よく伝達することが可能となる。

#### 【0017】

##### 【発明の実施の形態】

以下、図面に基づいて本発明の一実施の形態を説明する。図1に自動車のインストルメントパネルの斜視図を示す。

## 【0018】

自動車の車室内の前部に配設されているインストルメントパネル 1 の助手席側にグローブボックス 2 が設けられており、このグローブボックス 2 の開口部にリッド 3 が配設されている。リッド 3 は、その両側下部がグローブボックス 2 の開口部下縁にヒンジ等の支持部材を介して回動自在に支持されており、支持部材を中心に回動させることで、グローブボックス 2 の開口部を開閉する。

## 【0019】

図 2 に示すように、リッド 3 は、表面が車室側に面するリッドアウトパネル 3 a と、このリッドアウトパネル a の内面に取付けられたリッドインナパネル 3 b とを有し、この両リッドアウトパネル a とリッドインナパネル 3 b とで内部に中空部が形成される。又、リッドアウトパネル 3 a の上部左側に操作レバー 5 が設けられ、一方、リッドインナパネル 3 b の上部内面（中空部側の面）にリッドロック装置が取付けられている。

## 【0020】

図 4、図 5 に示すように、リッドロック装置は、回転体 7 と、同一形状の一对のロックアーム 8、8 とを備えている。この回転体 7 は開口端にフランジ部 7 a を有する円筒状に形成されており（図 6 参照）、回転体 7 の外周の、軸芯を中心とする点対称な位置に、一对の L 字形レバー部 7 b が形成されている。又、この一对の L 字形レバー部 7 b に対して、図 4 の時計回り方向へ所定角度位相をずらした位置には、フランジ部 7 a から軸芯方向へ一对のカムピン 7 c が突設されており、その先端に半月状フランジ 7 d が一体形成されている。

## 【0021】

又、リッドインナパネル 3 b の上部内面の幅方向中央にハブ 3 c が突設されている。このハブ 3 c は回転体 7 を外装して、この回転体 7 を回動自在に支持するもので、このハブ 3 c の軸芯に、回転体 7 の軸芯がねじ 9 を介して抜け止めされる。

## 【0022】

一方、図 4 に示すように、一对のロックアーム 8、8 は、回転体 7 の軸芯を中心としてリッド 3 の左右水平方向へ点対称に配設されており、且つ、両ロックア



ーム 8, 8 の先端に形成されているフック部 8 a どうしを結ぶラインが、回転体 7 の軸芯を通り水平方向へ延出するように設定されている。両ロックアーム 8, 8 は、回転体 7 の回転に連動して、互いに引き合い或いは反撥し合う方向、すなわち、お互いが相反する方向へ平行にスライドするように設定されており、ロックアーム 8 の基部側には、両ロックアーム 8, 8 が互いに引き合う方向へスライドする際の干渉を回避するための段差部 8 b が形成されている。

#### 【0023】

この段差部 8 b の後端にロッド 8 c が突設されている。両ロックアーム 8, 8 を回転体 7 の軸心を中心として点対称に配設したとき、両ロックアーム 8, 8 の段差部 8 b が、ねじ 9 で支持されている軸芯部分を挟んで対設されると共に、ロッド 8 c が他方のロックアーム 8, 8 の側面に延出される。このロックアーム 8, 8 の側面には、ロッド 8 c が挿通されるロッドガイド部 8 d が形成されている。両ロックアーム 8, 8 をスライドさせると、一方のロックアーム 8 に形成したロッド 8 c が他方のロックアーム 8 に形成したロッドガイド部 8 d に支持されるため、両ロックアーム 8, 8 は水平方向へのスライドが許容される。

#### 【0024】

又、ロックアーム 8 のロッドガイド部 8 d が形成されている側面のロッドガイド部 8 d よりも先端側に、後述するリターンスプリング 11 の一端を掛止する掛止爪 8 e が形成されている。

#### 【0025】

又、図 5 に示すように、ロックアーム 8 の段差部 8 b の後端にアーム部 8 f が一体形成され、このアーム部 8 f の先端部の、回転体 7 に対向する側の面にピン 8 g が突設されている。ロックアーム 8 を回転体 7 に組み付けた状態では、アーム部 8 f の先端が、回転体 7 の外周に形成されている L 字形レバー部 7 b を越えて、この L 字形レバー部 7 b の外側面に臨まされており、アーム部 8 f に突設されているピン 8 g が L 字形レバー部 7 b の外側面に対設される。

#### 【0026】

更に、段差部 8 b には、回転体 7 に形成されているカムピン 7 c を係入するカム溝 8 h が形成されている。又、回転体 7 に形成した一方（本実施の形態では、

図4の上側)のL字形レバー部7bの先端にリターンスプリング11の一端が掛止され、このリターンスプリング11の他端がリッドインナパネル3bの内面に突設されている掛止片3dに掛止されている。図4に示すように、掛止片3dは回転体7に対して図面右側に配設されており、従って、この掛止片3dとL字形レバー部7bとにリターンスプリング11の両端を掛止した場合、回転体7には、図4の時計回り方向への付勢力が常時印加される。

#### 【0027】

図6に示すように、ロックアーム8に形成されているカム溝8hに、回転体7に形成されているカムピン7cに係入された状態では、カムピン7cの先端に形成されている半月状フランジ7dが、カム溝8hの上面に掛止されて、カムピン7cを抜け止めしている。カム溝8hは、ロックアーム8を水平方向へスライドさせたとき、このカム溝8hに係入されているカムピン7cを介して回転体7を回転させるもので、一方のロックアーム8をスライドさせると、回転体7を介して他方のロックアーム8が相反する方向へ平行にスライドされる。

#### 【0028】

図4には、回転体7と一对のロックアーム8、8とをリッドインナパネル3bの内面に所定に組み付けた状態が示されており、この状態では、リターンスプリング11の付勢力により、回転体7が図の時計回り方向へ付勢されており、この回転体7の時計回り方向への回転が、カムピン7cを介して両ロックアーム8に形成したカム溝8hに伝達されて、両ロックアーム8を互いに反発し合う方向へスライドさせ、両ロックアーム8、8の先端に形成されているフック部8aをリッドインナパネル3bの両側に形成されているアームガイド部3eから突出させる。

#### 【0029】

従って、リッド3にてグローブボックス2の開口部を閉じた状態では、図3に示すように、両ロックアーム8、8の先端に形成されているフック部8aがグローブボックス2の開口部両側に形成されている掛止溝2aに掛止されて、閉状態が維持される。又、リッドアウトパネル3aに取付けられている操作レバー5を引くと、この操作レバー5のレバー部5aにて、ロックアーム8に形成したレバ

一受け用リブ 8 j が押圧され、ロックアーム 8, 8 が、図 3 の二点鎖線で示すように後退されて、先端のフック部 8 a がグローブボックス 2 に形成した掛止溝 2 a から外れる。

#### 【0030】

次に、このような構成によるグローブボックス用リッドロック装置の作用について説明する。

#### 【0031】

リッドロック装置の組立てに際しては、先ず、回転体 7 のフランジ部 7 a から軸芯方向に沿って突設されている一対のカムピン 7 c に、両ロックアーム 8 の段差部 8 b に形成されているカム溝 8 h を各々係入し、半月状フランジ 7 d をカム溝 8 h の上面に突出させて抜け止めする。又、両ロックアーム 8 の段差部 8 b の後端に突設されているロッド 8 c を、他方のロックアーム 8 に形成されているロッドガイド部 8 d に挿入する。

#### 【0032】

すると、両ロックアーム 8, 8 は、回転体 7 を介して互いにリンクされると共に、双方に形成されているロッド 8 c とロッドガイド部 8 d とを互いに挿通させることで、回転体 7 の回転により、両ロックアーム 8, 8 を相反する方向へ平行にスライドさせることができる。

#### 【0033】

そして、リッドロック装置を納品する際は、図 8 に示すように、回転体 7 に形成されている L 字形レバー部 7 b の先端にリターンスプリング 11 の一端を掛止し、又、リターンスプリング 11 の他端を、図 8 の左側に配設されているロックアーム 8 に形成されている掛止爪 8 e に掛止する。

#### 【0034】

すると、回転体 7 がリターンスプリング 11 の付勢力で、リターンスプリング 11 の他端を掛止するロックアーム 8 の方向へ回転し、この回転体 7 に突設されているカムピン 7 c を係入するカム溝 8 h を介して、両ロックアーム 8, 8 が互いに引き合う方向へスライドし、カムピン 7 c がカム溝 8 h の端面に掛止された状態で停止する。

**【0035】**

その結果、図8に示すように、ロックアーム8，8は互いに形成されているロッド8cが他方のロックアーム8に形成されているロッドガイド部8dに挿通支持され、又、両ロックアーム8，8に形成されているカム溝8hが回転体7に形成されている一对のカムピン7cに各々係入され、しかもカムピン7cは、その先端に形成された半月状フランジ7dによりカム溝8hから抜け止めされているため、一对のロックアーム8，8と回転体7とはサブアッセンブリ化される。

**【0036】**

そして、サブアッセンブリ化されたリッドロック装置をリッド3に取付けるに際しては、先ず、回転体7をリッドインナパネル3bの内面に形成したハブ3cに装着し、その軸芯をハブ3cの軸芯にねじ9で抜け止めする。

**【0037】**

次いで、リターンズプリング11の他端をロックアーム8の掛止爪8eから外し、図7に示すように、このリターンズプリング11の他端をリッドインナパネル3bの内面に突設されている掛止片3dに掛止する。その際、両ロックアーム8，8の先端に形成したフック部8aを、リッドインナパネル3bの両側に形成したアームガイド部3eに位置合わせしておく。

**【0038】**

すると、回転体7は、リターンズプリング11の付勢力を受けて、図7の時計回り方向へ回転し、その際、回転体7に形成した一对のカムピン7cが、各ロックアーム8，8に形成されているカム溝8h，8hを同方向へ押圧し、各ロックアーム8，8はカム溝8h，8hの受ける押圧力により互いに反発する方向へスライドされる。

**【0039】**

その結果、図4に示すように、各ロックアーム8，8の先端に形成したフック部8a，8aがリッドインナパネル3bの両側から突出され、リッドロック装置の組付けが完了する。

**【0040】**

次いで、リッドインナパネル3bをリッドアウトパネル3aに所定に装着して

リッド 3 を完成すると、図 3 に示すように、リッドアウトパネル 3 a に取付けられている操作レバー 5 のレバー部 5 a の動作方向に、図 4 の左側に位置するロックアーム 8 に形成されているレバー受け用リブ 8 j が対設される。

#### 【0041】

そして、リッド 3 をグローブボックス 2 に形成した開口部に取り付ける。リッド 3 にてグローブボックス 2 の開口部を閉じた状態では、図 3 に示すように、リッド 3 の両側から突出されているロックアーム 8、8 のフック部 8 a、8 a が、グローブボックス 2 の両側に形成されている掛止溝 2 a に掛止されて、閉状態が維持される。

#### 【0042】

この状態で、操作レバー 5 を引くと、レバー部 5 a が、図 4 の左側に位置するロックアーム 8 に形成されているレバー受け用リブ 8 j を押圧し、当該ロックアーム 8 を後退させる。すると、このロックアーム 8 の段差部 8 b に形成されているカム溝 8 h が、このカム溝 8 h に係入されているカムピン 7 c を同方向へ押圧する。

#### 【0043】

その結果、このカムピン 7 c が突設されている回転体 7 が、リターンスプリング 11 の付勢力に抗して、図 4 の反時計回り方向へ回転する。その際、カム溝 8 h と、このカム溝 8 h に係入されているカムピン 7 c との間には多少のガタがあるため、回転体 7 の図 4 の上側のカムピン 7 c が、このカムピン 7 c を係入するカム溝 8 h を押圧するよりも早く、回転体 7 の図面上側の L 字形レバー部 7 b の外側面が、他方のロックアーム 8 の段差部 8 b にアーム部 8 f を介して形成されているピン 8 g を押圧し、このピン 8 g を介して他方のロックアーム 8 を後退動作させる。

#### 【0044】

すると、図 3 に二点鎖線で示すように、両ロックアーム 8、8 が互いに引き合う方向へスライドし、両ロックアーム 8、8 の先端に形成したフック部 8 a、8 a が、グローブボックス 2 の両側に形成した掛止溝 2 a から外れ、リッド 3 は開放可能な状態となる。その際、一方のロックアーム 8 に形成されているロッド 8

cが、他方のロックアーム8に形成されているロッドガイド部8dに挿通されて、水平方向へ互いに支持された状態で移動されるため、両ロックアーム8, 8をスムーズに進退動作させることができる。

#### 【0045】

このように、本実施の形態では、リッドロック装置がサブアッセンブリ化されているため、各構成部品の紛失を未然に防止することができ、部品管理が容易となる。又、リッドロック装置はサブアッセンブリ化された状態でリッドインナパネル3bに組付けられるため、リッドロック装置自体の組立てが不要となり、リッドロック装置の組立てに要する作業工数を大幅に削減することができるだけでなく、組立て後の調整も殆ど必要とせず、結果として、製品コストの低減を図ることができる。

#### 【0046】

又、リッドロック装置をリッドインナパネル3bに所定に組み付けた後、このリッドインナパネル3bをリッドアウトパネル3aに装着すると、リッドインナパネル3bに取付けられている操作レバー5のレバー部5aの動作方向に、ロックアーム8に形成されているレバー受け用リブ8jが対設されるので、操作レバー5とロックアーム8とを接続する必要がなく、従って、操作レバー5とロックアーム8との間の動作を調整する必要もなく、その分、組立てが容易となり、組立て時の作業工数をより一層削減することができる。

#### 【0047】

更に、操作レバー5の操作により一方のロックアーム8を後退動作させると、他方のロックアーム8は、回転体7に形成されているL字形レバー部7bにより押圧されて後退動作されるので、回転体7の回転力を他方のロックアーム8に効率よく伝達することができ、操作レバー5によるリッド3の開放操作をスムーズに行なうことができる。

#### 【0048】

##### 【発明の効果】

以上、説明したように本発明によれば、リッドロック装置を予めサブアッセンブリ化しておくので、各構成部品の紛失を未然に防止できて部品管理が容易化す

るばかりでなく、組立てが容易となり、しかも組立て後の調整も殆ど必要とせず、組立て工程における作業工数を削減することができる。更に、作業工数の削減により製品コストの低減を図ることができる。

**【図面の簡単な説明】**

**【図 1】**

自動車のインストルメントパネルを示す斜視図

**【図 2】**

リッドの分解斜視図

**【図 3】**

ロックアームと操作レバーとの関係を示す要部平面図

**【図 4】**

サイドロックモジュールをリッドインナパネルに取付けた状態の正面図

**【図 5】**

サイドロックモジュールの分解斜視図

**【図 6】**

図 4 の VI-VI 断面図

**【図 7】**

サイドロックモジュールをリッドインナパネルに取付ける状態を説明する正面図

**【図 8】**

納品時のサイドロックモジュールを示す斜視図

**【符号の説明】**

2 グローブボックス

3 リッド

6 リッドロック装置

7 回転体

7 b L 字形レバー部

7 c カムピン

8 ロックアーム

8 a フック部

8 c ロッド

8 d ロッドガイド部

8 g ピン

8 h カム溝

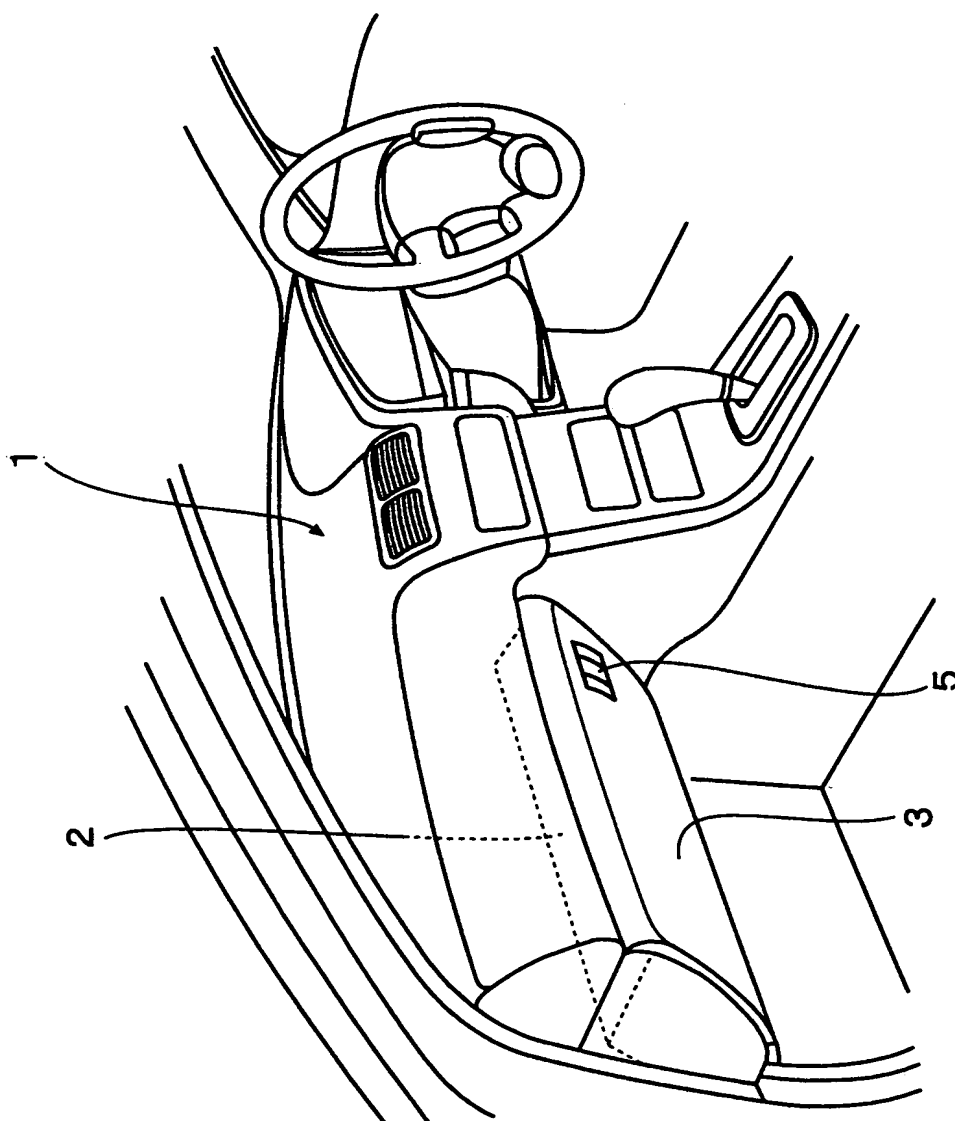
1 1 リターンスプリング



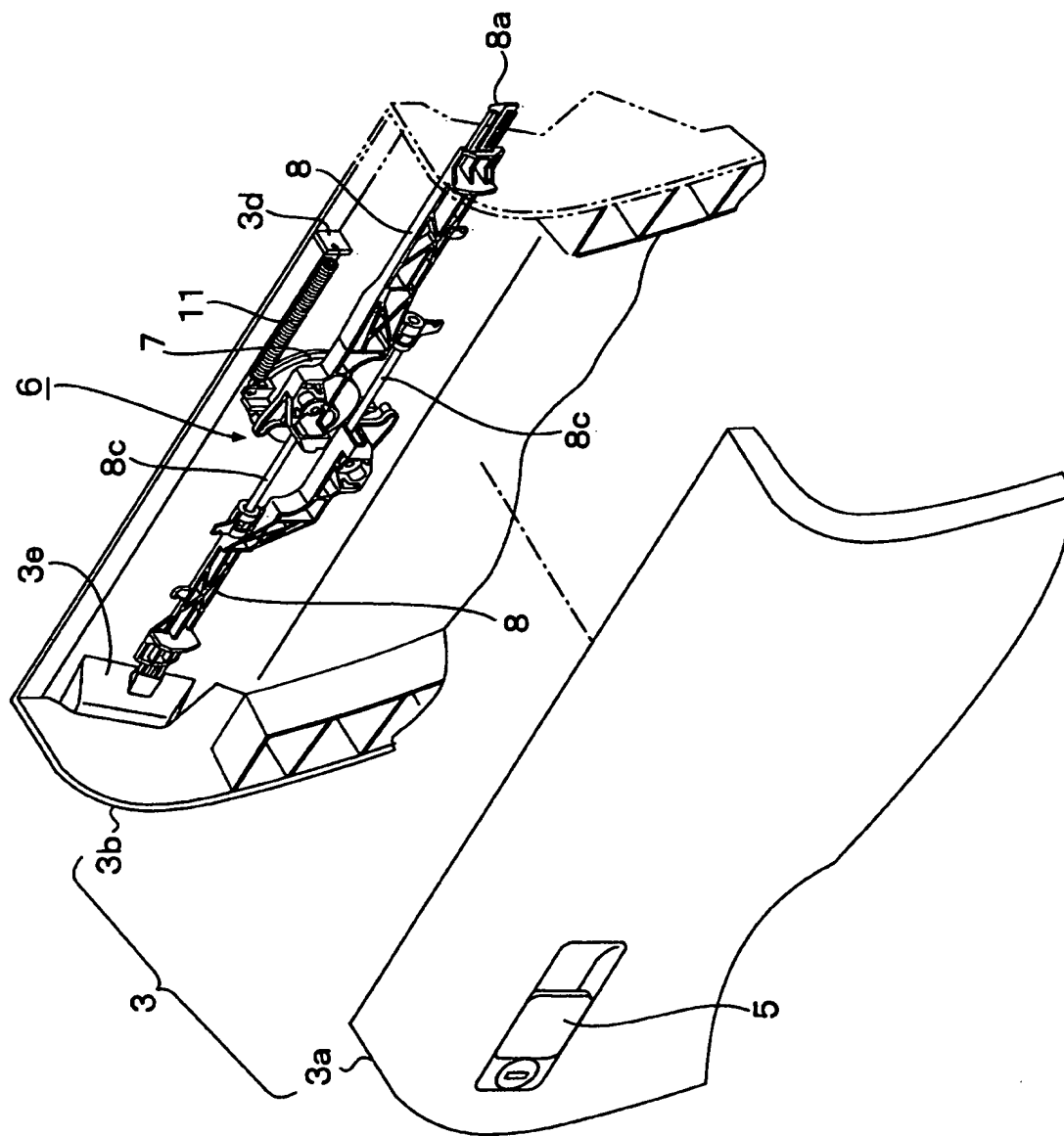
【書類名】

図面

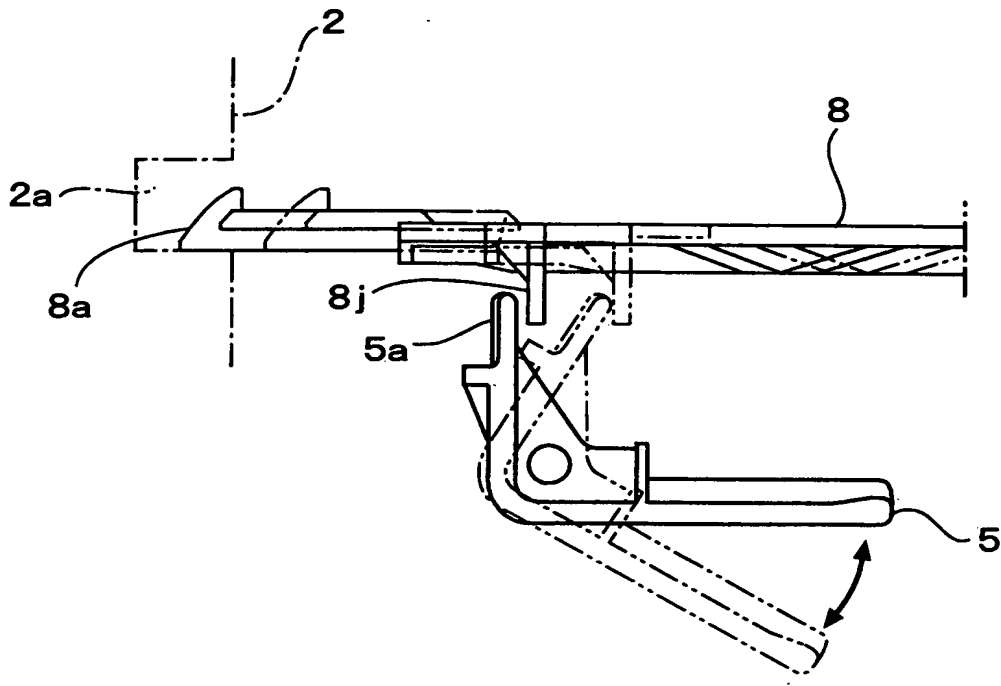
【図 1】



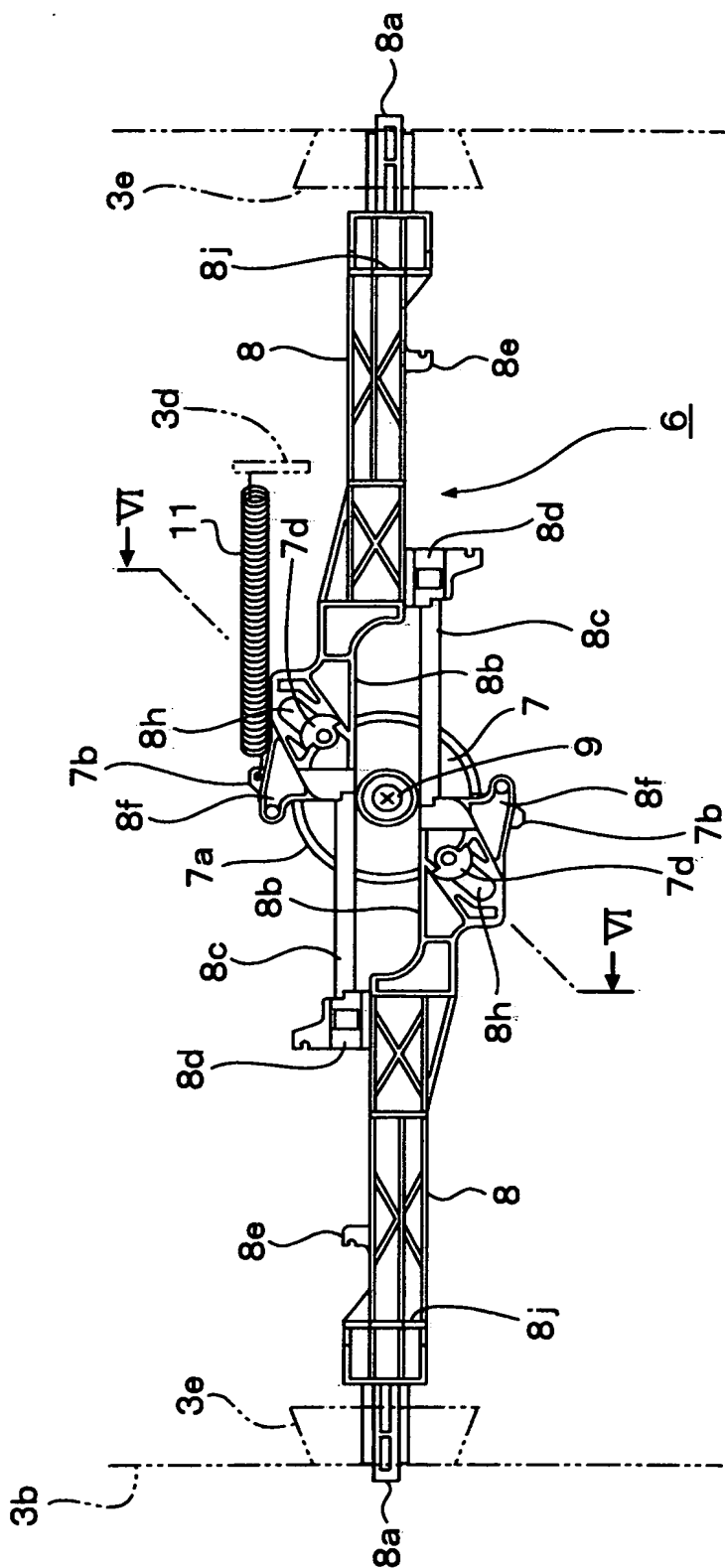
【図 2】



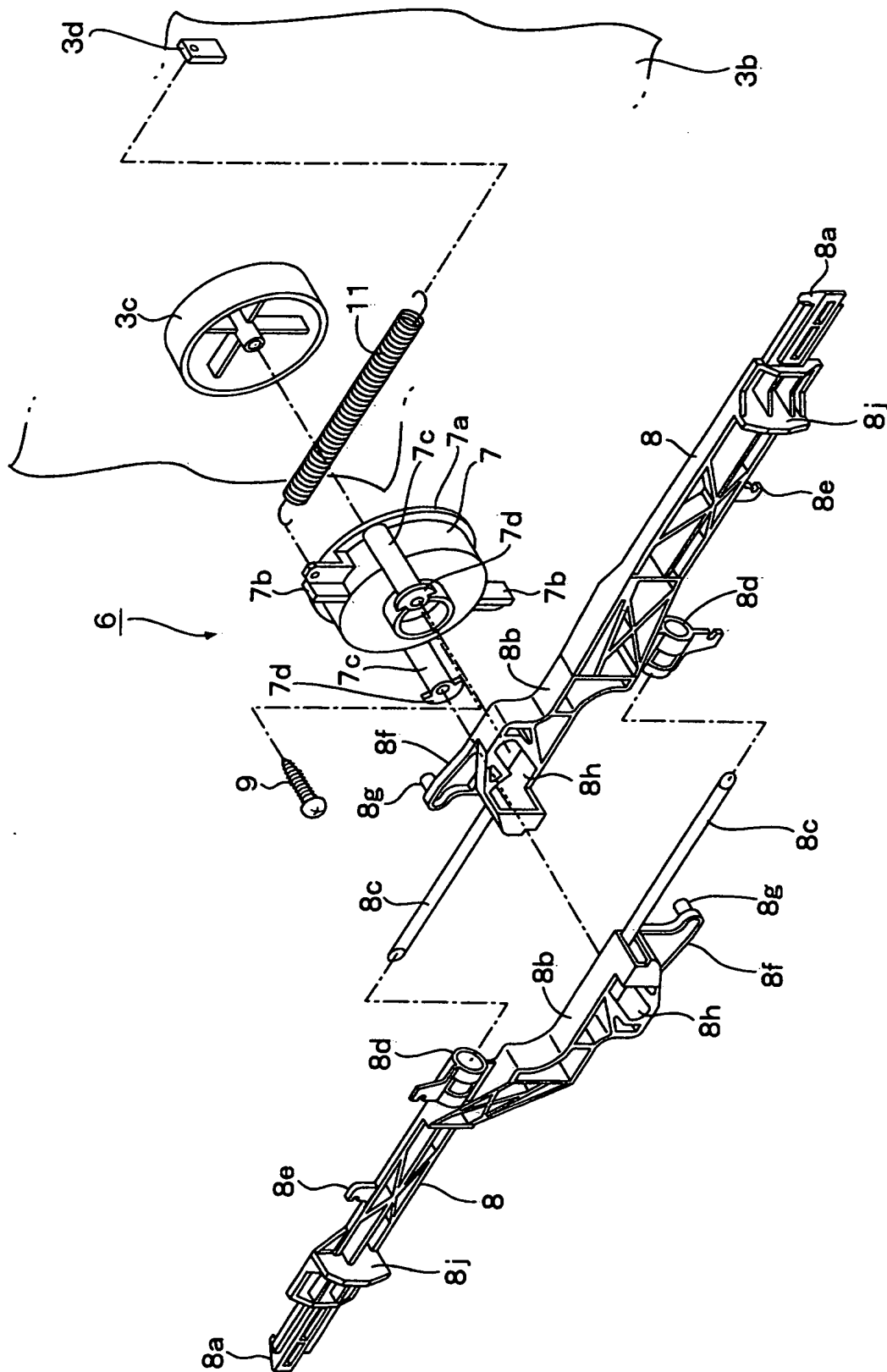
【図 3】



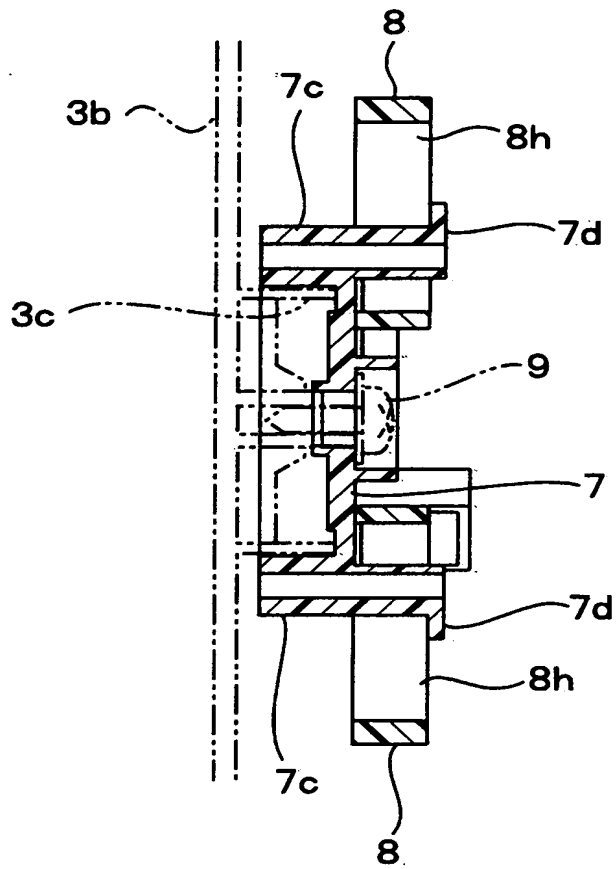
【図 4】



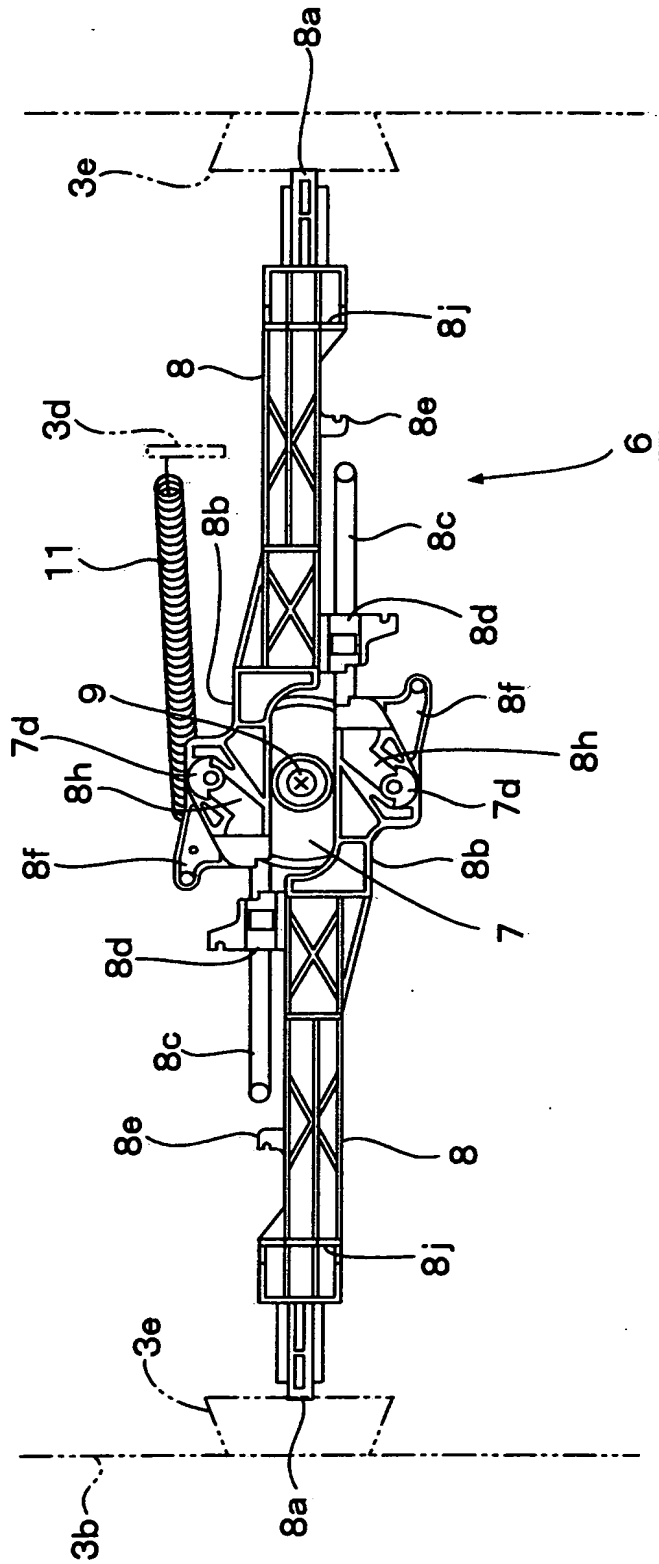
【図 5】



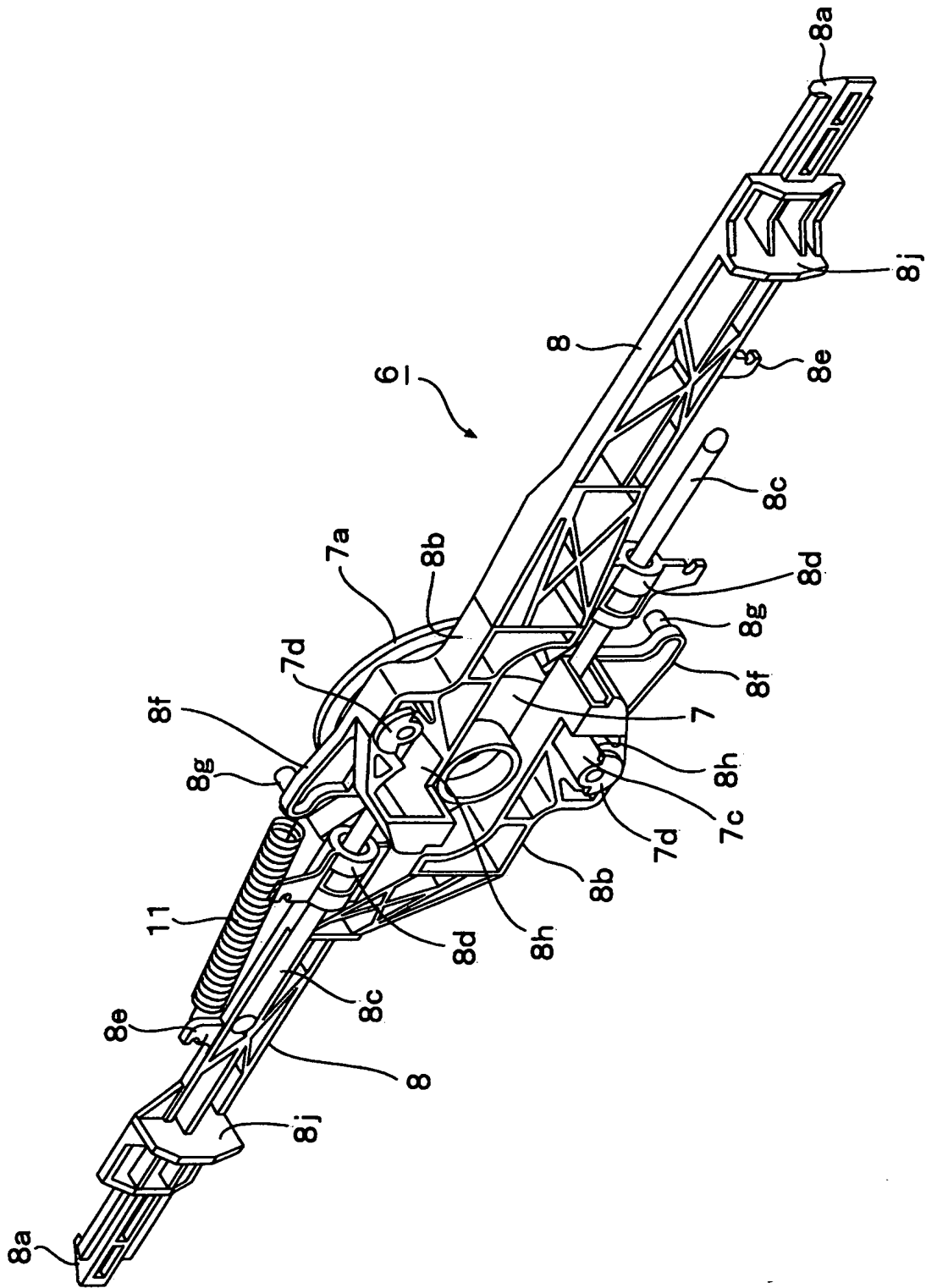
【図 6】



【図 7】



【図 8】





【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 組立てが容易で、しかも部品管理の容易なグローブボックス用リッドロック装置を提供する。

【解決手段】 同一形状の一对のロックアーム 8, 8 を点対称に配設し、互いの後部から延出されているロッド 8 c を他方のロックアーム 8, 8 に形成されているロッドガイド部 8 d に挿通し、又両ロックアーム 8, 8 間の中央に配設した回転体 7 に形成されているカム溝 8 h にロックアーム 8, 8 に形成されているカムピン 7 c を係入して、両ロックアーム 8, 8 を回転体 7 を介して連結させる。更に回転体 7 の側面から突出されている L 字形レバー部 7 b に一端を掛止するリターンスプリング 1 1 を両ロックアーム 8, 8 が互いに引き合う方向のロックアーム 8 に形成されている係止爪 8 e に掛止する。すると回転体 7 と互いに引き合う方向へ付勢されている両ロックアーム 8, 8 とがサブアッセンブリ化されるため、この状態で納品することで部品の紛失を防止することができる。

【選択図】 8

特願 2 0 0 2 - 3 6 6 2 9 3

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[ 0 0 0 1 2 4 0 9 6 ]

1. 変更年月日

1 9 9 5 年 1 0 月 1 9 日

[変更理由]

名称変更

住 所

神奈川県横浜市保土ヶ谷区岩井町 5 1 番地

氏 名

株式会社パイオラックス